

◆令和4年度ふくしま元気トーク（1/31開催）テーマ：「福島らしい文化 ふくぶんを考える
～福島に生まれ育って本当によかった～」

No.	カテゴリー	意見・提案内容	実施区分	担当課コメント	所管部名	担当課名
1	教育	<p>・生徒さんたちは、文化的な活動したということで、自信になったり、自分の時間を大事に使ったんだということになる。それが、教育的な意味にも、個人と心の問題でもとても大事なことだと思うんです。ハイ・アートに至らなくても、人の心を癒したりする。自分がそれをつくろうとする、つくったら見ようとする。そういったことで、個人の文化力が上がることが、地域の文化力を向上させられることになるのではないかと考えております。</p> <p>・自分たちの地域が、「生まれ育って本当によかった」と、ここはほかと違うんだなというところを知るきっかけをつくるというのは大事なことだと思います。教育の場面だったり、文化の力ということでできるのかなと感じています。</p> <p>・音楽の分野であれば、本格的に学べるワークショップや夏期・春期マスタークラス。音楽室に近年設立されたチェンバーオーケストラのメンバーから指導を受けるオーケストラ体験、また、本格的な発声指導を受けながら参加するオペラやミュージカル他合唱作品での体験は、より良い文化体験となると思います。</p> <p>・文化ということを根づかせていくためには、教育の部分がすごく大事だと思いますので、その部分がある子供たちが育っていくことによって、それに対する価値があると思うと、大人になるとお金を払える、そこに興味を持っていくという仕組みがいいのかなどは思います。</p>	現在実施中	<p>地域の文化力の向上には、個人それぞれの文化力を高めることが重要であると考えます。そのため福島市では、福島らしい文化発信事業「ふくぶん」において、文化施設の魅力のPRに努め、本市らしい文化にふれるきっかけづくりを行っております。</p> <p>また、子どもたちを対象とした音楽文化関連事業としては、一流のオーケストラを親子で鑑賞する「心ふれあい音楽鑑賞教室」や小中学校の音楽部活動に対し、講師謝金などを補助する「音楽部活動支援事業」などを実施しています。</p>	市民・文化スポーツ部	文化振興課
			現在実施中	<p>教員委員会では、「福島市学校総合文化祭」として図画工作・美術作品展覧会と中学校音楽発表会を毎年開催しています。</p> <p>図画工作・美術作品展覧会では、こむこむ館に市内小・中・特別支援学校から約900点の作品が展示され、コロナ禍の中でも3000人近い方々に鑑賞していただきました。</p> <p>中学校音楽発表会では、市内中学校20校の約600人の生徒が参加し、300人以上の保護者の皆さんに会場にいらしていただきました。</p> <p>今後も児童生徒の発表の場を設けていくことで、文化への興味・関心を高め、文化の裾野を広げる取り組みを進めてまいります。</p>	教育委員会	学校教育課
2	イベント	若者重視型の参加型のイベントが増えると、皆さん、文化施設に来やすいのかと思っています。	実施済み	大学生や高校生による街なかイベントの開催に対して「街なか若者活動促進事業」として補助を実施しています。また、「街なか交流館」を賑わい創出の拠点として活用するとともに、商店街等が実施するイベント開催経費を補助するなど、街なかの活性化を図っています。	商工観光部	商工業振興課
			現在実施中	<p>本市の文化の振興に要する資金を積み立てるため、これまでにあった2つの文化関連基金を廃止し、令和5年1月に新たに「福島市文化振興基金」を設置しました。これにより、幅広い文化関連分野に関する寄付の受け入れと資金充当が可能となりました。</p> <p>この基金を活用した柔軟な施策の推進により、文化活動の一層の活性化をはかってまいります。</p>	市民・文化スポーツ部	文化振興課
3	文化の間口	<p>・入り口をたくさん準備できれば、豊かな文化につながっていく。考古学、あるいは歴史や文化、そして伝統や郷土、そういったものに目を向けていくような仕掛けを、これが文化ですよという提供ではなくて、特に子供たちが、あるいは大人でも自分で発見できるような仕組みというのは、個人や小さい組織には無理なので、マネジメントあるいはコーディネーターというものが一体的にたくさん入口を準備するというのが、今後の文化を考えることで重要なんじゃないかなというふうに思っています。</p> <p>・教育や市民生活の中に、なるべくそういった体験ができる場を増やしていく。</p> <p>・間口を広げて、子供のときからいろいろな文化に触れることによって、あとは自分で興味を持ったものを楽しんでもらえたらいいなと思っています。</p> <p>・子供たちは好奇心が旺盛なので、いろんなことに触れさせるというのがとても大事だと思うんです。親御さんが連れて行かないと出会えないというのは、結構ハードルが高くて、ですから、町なかの本当にいろんなところにいろんなものが、いろんなきっかけがあるというのはとても大事なことだと思います。</p> <p>・大人に対しては、理解を一步深めさせるような仕掛けがあるといいと思います。</p> <p>・例えば各学習センター等での昼・夜の講座での参加・体験型のミニコンサートその他、ショッピングセンターや空き店舗、または駅前・街なか広場、四季の里等の屋外でのコンサートや体験フェスなど、型にはまらない場合へ私たちが赴き、市民の皆さんに豊かな文化体験を少しずつ重ねていただくことが実現すればと思います。</p> <p>・いろんな芸術家であったり、活動をしていく人たちが、新たな知恵でコラボレーションができるような仕組みができていくと、より文化が根づいていくきっかけになるんじゃないかなというふうに思っています。</p>	現在実施中	<p>児童・生徒をはじめ、市民が様々な場面で芸術や歴史などの文化に触れたり、体験したりする機会を数多く提供することは、今後の文化振興において大変重要なことであると考えます。</p> <p>現在、子どもたちが一流オーケストラを鑑賞する「心ふれあい音楽鑑賞教室」や、通常と異なる利用方法で文化施設に興味をもってもらう「ふくぶんユニークバニユー」事業、まちなかに縄文時代の土器や土偶を展示する「まちかど博物館」、まちなかが音楽が流れる「古閑ストリートミュージックフェス」など、市民が様々な場面で文化に触れることができる機会の提供に努めています。</p> <p>今後も引き続き、創意工夫のもと市民の皆さんに興味をもっていただける事業実施に取り組んでまいります。</p>	市民・文化スポーツ部	文化振興課

◆令和4年度ふくしま元気トーク（1/31開催）テーマ：「福島らしい文化 ふくぶんを考える
～福島に生まれ育って本当によかった～」

No.	カテゴリー	意見・提案内容	実施区分	担当課コメント	所管部名	担当課名
4	発表の場	<ul style="list-style-type: none"> ・邦楽の祭典という演奏会がございまして、福島市の伝統文化をやっております。来場者に若い方がとても少ない点が残念で、既存の事業を発展させて、市の事業で、体験教室などでお筆を少しでも体験した子たちが、そういう場で披露できたら、福島市の文化も豊かになっていけるかなかなと思っております。 ・例えば中学生の美術部さんの発表の場が少ないということなんです。 	現在実施中	<p>まちなかにおいて昨年新たに実施した「古閑ストリートミュージックフェス」では、音楽活動を行っている市民の方が披露する場を提供し、市民の文化芸術の発表の場のさらなる創出につなげました。</p> <p>また、今年度については、県立美術館前の通りを市民画家の創作活動の場、さらに作品展示の場として提供できるようすすめているところです。</p>	市民・文化スポーツ部	文化振興課
5	技術の継承	<ul style="list-style-type: none"> ・織物技術を継承していくというのやっているんですけども、ボランティアでは長く続かないんです。そういうことをやれば、多少なりともお金が入るということで、継承させるというような形でできればいいということ思っております。 	現在実施中	<p>織物をはじめ福島市に残る伝統的技術や知識をいかに守り、後世に伝えていくかが大切なことであり、イベント等で技術の披露や体験の場を提供いただく際は、有償のボランティアで協力をお願いしているところでもあります。</p> <p>人から人へと伝承されることで伝統が守られるものであります。その活動にあたって必要な対価を得ることで、産業の存続にも繋がり、若年層を中心とした新たな人材を引き込み、後世に技術を伝承していくという好循環を生むものと考えております。</p>	市民・文化スポーツ部	文化振興課